

令和3年度 教員地域貢献活動支援事業（学長裁量事業）
地域実践研究支援 成果報告書

下記研究課題について、以下のとおり成果を報告します。また、当該事業の経費執行については、規程等を遵守し適正に使用しました。

1 研究課題名

企業緑地を活用したまち保育的環境学習の可能性についての実践研究

2 研究代表者

氏名	三輪律江
所属	国際教養学部
職位	教授

3 チーム構成

氏名・所属・職位	—
----------	---

学生の協力者（代表）

氏名・所属・学年	豊田夏萌・国際教養学部都市学系三輪ゼミ・2年
----------	------------------------

4 連携相手先

組織名	住友林業緑化株式会社
-----	------------

5 この研究活動の概要

地域の自然資源を“まち中保育”に活用する取り組みの観点から、閉ざされた企業緑地（ENEOS(株)根岸製油所の森）のみどり資源を活用したさまざまなアクティビティの開発、環境学習プログラム化の推進を図り、企業緑地のみどり価値の見える化と、地域との共生を目指す企業の伴走支援を行う。

6 この研究を実施する目的

環境問題はグローバルな課題でありながら、その取り組みについてはすべての人々の身近なところからアプローチしていくことが重要とされている。ここでは特定の“企業緑地”を対象として緑地のポテンシャルを見出し、それを効果的に活かした環境プログラムを試行することで、企業CSRと地域環境学習を結ぶ方策を検討する。

7 実施した内容（スケジュールと具体的な活動、実績、成果）

地域の自然資源であるがあまり踏み入ったことのない企業緑地を舞台に、参加者が一方的な受け身でなく、自ら参画して楽しみながらその存在価値を理解する、そしてまた遊びたい、ここが好きと思えるものにする、というコンセプトで、社員向けの企画『エネ森フェア』を提案し、企業緑地を活用した環境学習プログラムづくりを試行した。主なスケジュールは以下の通り。

2021年6月 ENEOS(株)根岸製油所の森 現地見学（ゼミ2-3年生全員）

7~8月 住友林業緑化(株)との企画検討の打合せ

9月 ENEOS(株)根岸製油所の森へ向けた『行こうよエネ森フェア』企画提案プレゼン

10~11月 イベントに向けた準備

11月20日 イベント本番

2022年1月 振り返り

- ・社員の家族という、限定的なグループでの試行であったが、新たな“まち保育拠点”発掘の可能性が見いだされるとともに、企業においても、新しい緑地価値の発揮の一石を投じるものとなった。

（事前予約制の参加者11家族37人（父兄23人、子供14人））

- ・参加者およびスタッフアンケートによれば、企画はおおむね好意的に受け入れられ、来年度以降も参加したいとする声が多く見られた。
- ・職場の企業緑地が、生物多様性に配慮して整備が進められていることを、このイベントをきっかけに、知った関係者も多く、緑豊かな職場環境を認知し、また家族と共有することで、職場に対する愛着も増長できた様子も感じとられた。



8 この研究により得られた効果と自己評価

- ・企業緑地において、まち保育の可能性を模索するといった国内でも類を見ない試みが、地域最大級の生産工場で実現し、一定の評価を得た。

9 今後の課題と展開

- ・ENEOS(株)根岸製油所の企業緑地をフィールドにしたこの取り組みが、就業者と企業が近隣の地域コミュニティとも親和性を高め相乗的に子どもの育ちの一翼となっていくことへの発展を期待したい。
- ・企業緑地は国内に多数あり、遊休地化しているところも多い。今後はこの事例を礎に、企業緑地でのまち保育的環境学習の可能性を模索し追及するための企業プラットフォームを立ち上げ予定。